

## <タイ マヒドン大学口腔細菌学教室との共同研究>

2025年11月20日から12月4日にかけて、タイ・バンコクのマヒドン大学口腔細菌学教室にて共同研究を実施しました。当科からは、亀谷茉莉子、金木亜美、伊藤有矢、正路祐人の4名が参加しました。

今回の渡航では、バンコク郊外のう蝕（むし歯）多発地域にある小学校を訪問しました。現地の歯科検診に同行する中で、中所得国における歯科医療の深刻な地域格差を肌で感じる貴重な機会となりました。

調査活動では、児童の唾液やプラークのサンプル採取、および歯科検診を行いました。得られた検体から、う蝕の主要な原因菌である *Streptococcus mutans* や *Lactobacillus* などの細菌を培養・分析し、現在は菌種とう蝕の罹患状態、口腔衛生状態の関連について詳しく解析を進めています。

